ボランティアガイドの会　　第３３号（２０１７年５月）

あ い さ い　通 信

発行：あいさいボランティアガイドの会　編集:若山
愛西市森川町井桁西 27　愛西市観光協会内
電話：0567-55-9993

織田家ゆかりの城

愛西市には、戦国時代の覇者・織田信長が1534（天文 3）年 5 月 28 日に生まれた勝幡城址があり、2014 年には、名鉄津島線の勝幡駅前に信長親子像と勝幡城の模型が建てられました。

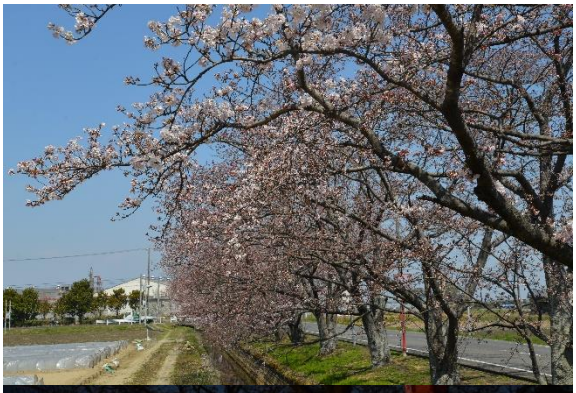
一方、愛西市南部には織田信長が悪戦苦闘した伊勢長島一向一揆の史跡があります。当時、木曽三川下流部（河内）には服部左京進という土豪がいて、織田家に敵対し、1560（永禄３）年の桶狭間の合戦では、今川軍に呼応して挙兵しましたが、今川義元が敗死したため撤退しました。その後、1570（元亀元）年、石山本願寺（現・大阪府）が反信長蜂起の檄文を全国に送ると、服部左京進も参戦し、長島願証寺を中心とした一向一揆軍が蜂起して長島城（現・長島中学校）などに立てこもりました。

長島一向一揆が勃発した時、織田信長の本軍は、近江（現・滋賀県）で浅井・朝倉軍と対峙していました。このため、当地を小（古）木江城（現・愛西市森川町）などで守っていた弟の信興が一揆軍に攻められ、信興他が戦死しました。道の駅「立田ふれあいの里」横を流れる鵜戸川対岸にある富岡神社境内に古木江城の説明板が立っています。

長島一向一揆は、３回の激しい攻防がありましたが、長島城周辺を中心に蟹江城（現・蟹江町）、大野城（現・愛西市大野町）、鯏浦城（現・弥富市）周辺でも戦闘がありました。1574（天正２）年６月、織田軍は早尾城などから進撃して一揆軍を取り囲み、９月までかかって壊滅させられました。

早尾には、長島一向一揆以前から早尾砦（現・愛西市早尾町）がありました。『張州雑志』には、津島の大橋氏が築き、1524（大永４）年、織田信長の父・信秀が津島を攻めた時、津島衆が退いた砦（早尾東城）と記されています。早尾町の常徳寺に早尾東城址とする案内板が立っています。

春



今年は酉年。偶然とは思いますが、酉年は西日本で大雪？と正月に予言されたように、１２年ぶりに３月としては異常な寒さでした。名古屋地方気象台（名古屋市千種区）のホームページには、1990 年からの生物季節観測記録表（桜など２０項目の植物とツバメなど１２項目の動物）が掲載されていますが、今年の桜開花は３月２８日（平年の２日遅れ）で、満開は４月６日（平年の３日遅れ）でした。また、ツバメの初見は３月３０日（平年の３日遅れ）となっています。

とはいえ、過去２０年の生物季節観測記録表を見ると、４月になって急に暖かくなり、藤の開花が早い年もあれば、藤の開花が桜同様に遅れる年もあるようです。今年はどうなるのでしょうか？

４月１日に開催された愛西市の桜まつりも、桜は開花していましたが、満開にはほど遠い１分から２分咲きだったと思われます（上写真：４月４日撮影）。

千引町と古瀬町との間にある相ノ川桜並木ではライトアップされ、地元の方々が夜桜を楽しんでいましたが、防寒具が必要でした（中写真）。また、八開会場となった鵜戸川沿いの桜並木も、立田会場となった船頭平公園の桜も、満開は４月６日頃でした。

その一方で、品種が違う桜はソメイヨシノより満開時期が早く、森川町の専随寺にある赤芽白山桜、鵜多須町の了慶寺にあるエドヒガン（江戸彼岸）は、ポカポカ陽気となった４月４日に見事な満開を迎えていました（下写真）。

佐屋宿　を　歩く

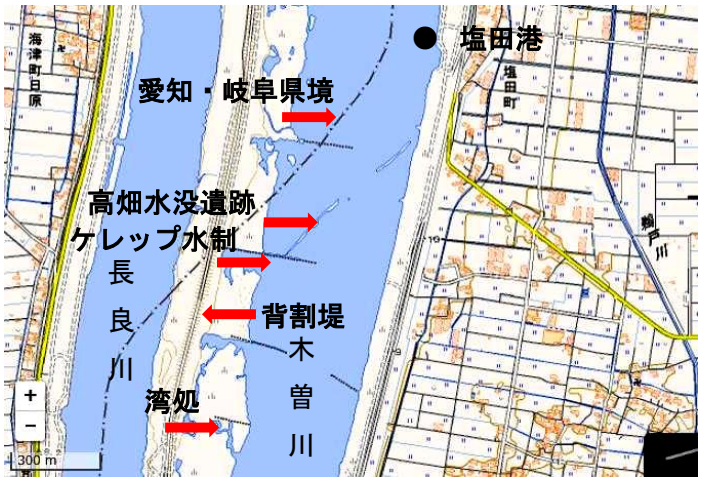
愛西市中央図書館は、４月から「NPO 法人 まちづくり津島」が指定管理者となり、読書活動の奨励事業の一環として愛西市歴史・文化講座などを実施されます。今月、「市内名所旧跡まち歩き」として佐屋町周辺をあいさいボランティアガイドの会のメンバーで案内します。

事業名　：佐屋街道の佐屋宿を歩く
月日　　：5 月 21 日（日）13:00～15:00
集合場所：くいな公民館
コース　：佐屋宿場町周辺（約４㎞）
主催　　：愛西市中央図書館（電話：0567-28-7760）

幻の堤防跡

今年（2017 年）は、木曽三川の明治改修事業開始（1887：明治 20 年）から 130 年にあたります。明治改修事業で木曽・長良・揖斐川が分流され、現在の木曽川には、背割堤、ケレップ水制、**ワンド（湾処）**といった特殊な地形が形成されました。

さらに、かつての長良（木曽）川が、愛知・岐阜県の県境となっているため、愛西市において、県境は木曽川から長良川に移ります(右図)。県境近くには、江戸時代の長良（木曽）川堤防などがありましたが、現在でも、木曽川の河川敷にその一部であった丸太の杭やたくさんの石が残っています（通称：高畑水没遺跡、右図：国土地理院の地図にも図示されています)。この堤防は、普段は木曽川の水面下に沈んでいます。が、大潮の日の干潮時間にその姿を現します(右写真：4 月 14 日 16 時撮影、葛木水位 1.34m)。いわば、**幻の堤防跡**です。



残念ながら気象庁の予想潮位表によると、今年（2017 年）は条件があまりよくありません。幻の堤防の全貌を見ることができるのは、4 月 28 日（金）前後、5 月 27 日（土）前後、6 月 25 日（日）前後、7 月 27 日（木）前後の数日間、名古屋港が干潮になった 1 ～ 2 時間後の 1 時間程に限られます。また、干潮であっても上流で大雨が降り木曽川が増水すると現れません。

5 月 26 日（金）午後、今年も高畑水没遺跡見学会を開催します。関心がある方は愛西市観光協会の事務局（電話：0567-55-9993）まで問合せ下さい。

筏場があった梶島

愛西市には、高畑水没遺跡以外にもかつての木曽川の流れを伝える史跡が残っています。例えば、森川町梶島は、明治中期まで木曽川と佐屋川の合流点にあった島であり、尾張藩にとって重要な地でした。すなわち、江戸時代を通じ、木曽谷で得られるヒノキ、サワラ、アスナロ、ネズコ、コウヤマキは木曽五木と呼ばれ、尾張藩の管理に置かれ、藩の指示で伐り出され、岐阜（現・八百津町）の錦織綱場まで一本流しで流されました。ここで筏に組まれて木曽川、佐屋川を下り、梶島で筏を点検し組みなおしていました。梶島からは、筏川を通り熱田の白鳥貯木場へ運ばれました。梶島の神明社鳥居横に案内板が立てられています。

～　愛西市周辺の観光 今後の予定　～

４月２２日（土）～５月７日　津島藤まつり（於：津島市の天王川公園）
４月２２日（土）・２３日（日）森津の藤まつり（於：弥富市森津）
５月　３日（水）　全日本うまいもの祭（於：モリコロパーク）
　　８日（月）　木曽三川交流レガッタ（於：海津市の長良川）
　２１日（日）　愛西市中央図書館講座・佐屋街道の佐屋宿を歩く（２頁参照）
　２５日（木）　愛西市観光協会・ボランティアガイドの会　総会（於：佐織公民館）
　２６日（金）　高畑水没遺跡見学会（３頁参照）
７月　８日（土）・　９日（日）　蓮見の会　（於：愛西市・森川花はす田）
　２２日（土）・２３日（日）　尾張津島天王祭（於：津島神社周辺）
８月　６日（日）・１１日（金・祝）・２０日（日）　漁業体験（主催：愛西市観光協会）

ＶＧ５月定例会の予定

集合時間：５月２１日（日）９時～　　集合場所：愛西市中央図書館
内　　容：２０１７年度の事業計画について

◇４月定例会（４月１６日（日）１０時半～１４時、於：レストラン天王、２９人出席）議事録

１）５月の催事について
　５月に開催される予定について、活動内容、担当者、事前会議の予定、雨天時の対応などを確認しました。

２）３・４月の活動報告について
　桜まつりの報告、ならびに、今年の桜開花に関する情報などを交換しました。また、津島高校での稲葉真弓展（３月）について報告がありました。

３）協議・連絡事項
　会費の集金、ならびに、保険カードの配布をしました。また、春の研修旅行について開催希望日と候補地を確認しました。

４）その他
今月は懇親会を兼ねた昼食会を実施し、会員相互の親睦を深めました。

出逢い・ふれ逢い・あいさい写真コンテスト　作品募集中

詳細は、愛西市観光協会 HP（http://www.aisaikankou.jp）を参照下さい。
応募・問い合わせは、愛西市観光協会まで
愛西市観光協会：愛西市森川町井桁西 27　　電話：0567-55-9993

ミニ企画展『諸桑村より古船を掘出せり』
５月２日（火）～６月４日（日）　午前９時～午後５時　　於：佐織公民館
（休館：毎週月曜、５月４・５日、　連絡先：(0567) 26-1123)